（株）アガツマから アンパンマンの玩具寄贈

４月８日、玩具製造メーカーの**株式会社アガツマ**（東京都台東区）から香美市へ、アンパンマンの幼児向け知育玩具が寄贈され、香美市立やなせたかし記念館で贈呈式が行われました。

平成１０年から毎年、故やなせたかし先生の故郷である香美市へ贈られているもので、今年は、ジグソーパズルや水遊びのプールなど約１３０個の玩具が寄贈されました。寄贈された玩具は、市内の保育園や幼稚園、子育てセンター等、子どもたちの集まる施設に配られ、たくさんの子どもたちを笑顔にしてくれます。

はっけよい！ 白熱のちびっこ相撲

６月４日、香長小学校を会場に、**第１１回香美市小学校相撲大会**が開催されました。

１年生から６年生までの、市内の小学生１２５人が参加して個人戦が行われ、気迫のこもった勝負が繰り広げられました。

各学年の優勝者は次のとおりです。

１年　黒木千寛（大宮）	４年　依光宙輝（楠目）
２年　山崎　陸（片地）	５年　西岡虎珀（山田）
３年　西岡七夏（山田）	６年　山下武蔵（山田）

こどもが主役！こども祭り

５月２９日、健康センターセレネ広場で**第５回物部川こども祭**が開催されました。これは『こどもの文化を発信』『物部川流域の交流と活性化』をテーマに開かれているもので、約２，０００人の来場者でにぎわいました。

会場には、物部川流域のうまいものを販売する模擬店が軒を連ね、『こども祭の旗づくり』や『間伐材での動物・恐竜づくり』など、たくさんの体験プログラムが行われました。また、熊本地震復興支援イベントとして、物部川漁業協同組合の協賛による『アメゴのつかみ取り』も開催され、その収益は被災地に全額寄付されました。当日はあいにくの雨でしたが、子どもたちの笑顔があふれる一日となりました。

歌碑を巡ってウォーキング

▲歌碑の解説を熱心に聞く参加者たち

５月２８日、香北町猪野々で、**吉井勇の歌碑をめぐるウォーキングイベント**が開催されました。

２０人の参加者は、新緑と棚田が広がる風景の中、風を感じながら、勇の足跡が残る道を歩きました。

歌碑を巡りながら、記念館の職員と地域の方々が猪野々の神社や文化の解説をし、参加者の皆さんは熱心に聞き入っていました。昼食には猪野々集会所で田舎ずし弁当を食べ、参加者の方からは、「また歩きたい」とのうれしい声が上がっていました。

香美市を元気にする！ こども会議

５月１４日、香美市役所で、小中高生が香美市を元気にする取り組みを自分たちで考え、実現を目指す**香美市こども会議**が開催されました。

今年で２年目となるこの会議では、昨年度つくった香美市の歌『Happy to be born in Kami』を広げるために自分たちができることや、昨年末に開催された『ＫＹＯ子ども祭り』について話し合いが行われました。

当日は、市内全１１校から児童生徒５７人が参加。最初はとまどっていた子どもたちも、次第に活発な意見を交わし、時間いっぱい議論することができました。具体的な活動や計画については今後実行委員会で協議し、随時ホームページ等でお知らせしていきます。

お手柄！ 火災から女性を救出

▲感謝状を受け取る田淵さん（左）と近森さん

３月に宝町で発生した住宅火災で女性を救助したとして、４月１８日、香美市長から田淵洋一さんと近森良平さん（共に土佐山田町）に表彰状が贈られました。

２人は火災現場で、建物内からの「助けて！」という声を聞き、窓ガラスをひじで割って中から女性を助け出しました。２人の勇気ある行動が、かけがえのない命を救いました。

モロッコの訪問団 香美市の教育現場を視察

５月２４日、モロッコの国民教育省の方など１５人が、モロッコにおける公平で質の高い教育実現を目的とした視察で香美市を訪問しました。

午前中は教育委員会の取り組みを紹介し、訪問団からは学力向上や予算面についての質問がありました。

午後に片地小学校を訪れた訪問団は、児童らによる歓迎の歌や踊りで迎えられ、子どもたちの活発ではほ笑ましい質問に笑顔で答えていました。その後、４年生による授業の見学や、現場の教師との意見交換などを行い、香美市の教育について学んでいました。

▲片地小の児童たちと交流

少年剣士たちの真剣勝負

４月２９日、香北体育センター（香北町吉野）で、香美市合併１０周年記念事業として**第１１回香美市体力つくり少年剣道錬成大会**が行われました。

市内外の学校・団体から６５チーム、３２１人が参加し、小学生・中学生・高校生の３部門で熱戦を繰り広げました。市内関係者は次のような成績を収めました。

■小学生の部（個人）準優勝
下村椋太（山田少年剣道教室）